

別紙様式 5.

平成 25 年度 産学連携推進プロジェクト研究成果等最終報告書（アントレプレナーシップ教育及び知財教育支援プロジェクト用）

■アントレプレナーシップ教育及び知財教育支援プロジェクト：松田裕雄プロジェクト

ア. プロジェクトの課題

スポーツ・ビジネスを活性化する起業家的人材育成プログラムの開発と実践

イ. プロジェクトの代表者

松田裕雄（講師・人間総合科学研究科／体育系）

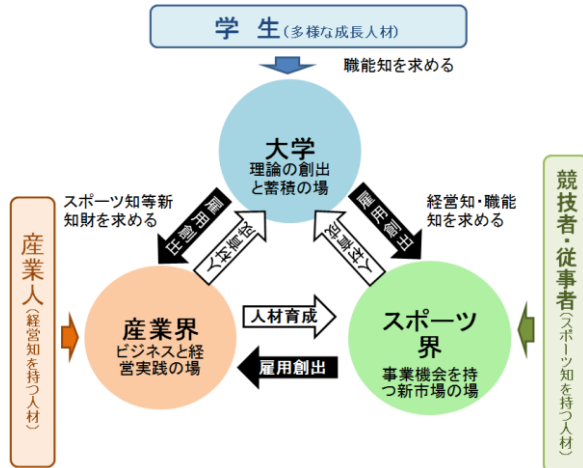
TEL 029-853-2754

E-mail: [yas-m@taiiku.tsukuba.ac.jp](mailto:yas-m@taiiku.tsukuba.ac.jp)

ウ. プロジェクトの概要

a. プロジェクトの目的

大学・産業界・スポーツ界の各専門家によって構成される運営委員会と講師陣により、起業家的精神と実務能力を有する人材育成プログラムの開発と実践を行う



プロジェクト実施背景／カリキュラム全体概要

GOOD SPORTS GOOD FUTURE !  
「IMAGINE THE FUTURE」の具現化に向け、  
スポーツの普遍的価値で新しい価値や新しい未来を創造できる人材の育成を目指します。



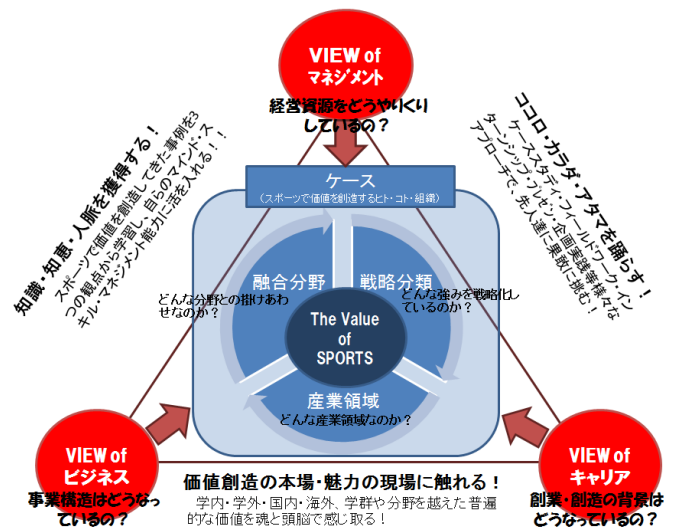
b. プロジェクト成果

(1) 平成 23 年度の成果（第一年度）

①本格的なケーススタディ導入による学生満足度のUP＝全項目で 100%の満足度達成

1 学期；98.6% 2 学期；100%

②ケーススタディ開発の段階で、ひとつのケースに対し以下のようなアプローチで分析していくことで教育効果が高まることが判明した。



③学内公開授業を実施し、学生にとっては聴講から教職員にとってはスタッフ研修ということで職員課も巻き込み、総勢 300 余名を集客した大規模講座を展開できた。

実施日：平成 23 年 11 月 14 日（月）18 時 15 分  
～21 時 00 分

講師：荒川静香（プロフィギュアスケーター）

題目：自らの意識を高めるとは



別紙様式 5.

平成 25 年度 産学連携推進プロジェクト研究成果等最終報告書（アントレプレナーシップ教育及び知財教育支援プロジェクト用）

④ 平成 25 年度実施予定であった学外公開講座版「勇者の鼓動」が、教育推進部主催事業の「重点公開講座」として採択された為、前倒しで開催し、一般社会人からも好評価を得た。

公開講座名

「筑波大学重点公開講座 醒めて起て！勇者の鼓動—スポーツの価値とビジネス」

対象；一般ビジネスマン、OL

開催場所；筑波大学東京キャンパス文京校舎

開催期間；1 月～3 月

受講者数 90 名 満足度 94%



⑤ 平成 24 年度実施において「勇者の鼓動」を 2 単位、2 コマ続きとすることに決定したこと。

⑥ 平成 24 年度実施予定である「王国の息吹・国内編／海外編」共に学内特設自由科目（特別配慮科目）として採択され教育推進課より予算を計上していただいた。

⑦ 一連のプログラム（勇者の鼓動／王国の息吹）をスポーツ・アントレプレナーシリーズとしてひとつの冊子とし、平成 24 年度専門パンフレットとして作成した。

(2) 平成 24 年度の成果（第二年度）

① レベルⅡプログラム「王国の息吹・国内編/海外編」開講により国内外における産業機関及び教育機関とのアライアンス締結を達成したこと。

国内) エイベックス・グループホールディングス(株)ヴァンフォーレ山梨スポーツクラブ(株)、(株)ユニバーサルスポーツマーケティング、ゼビオ(株)  
海外)

Irvine City , Woodbridge village association , Athletes Dream Management Inc , University of California Irvine , University of Nevada Las Vegas 等

② レベルⅢプログラム「浪漫の覚醒」次年度自由科目化決定

つくば市体育協会及びゼビオ(株)と協同で学習環境整備にあたり、受講生は実務としてのビジネスを実践する。

レベルⅢ (皆伝編)	スポーツで起業・事業化を企画実践する	
	浪漫の覚醒 —卒業を創るスポーツ・ビジネス実践実習—	
レベルⅡ (見習編)	スポーツで起業・事業化を実務体験する	
	国内実習編 特設自由科目 王国の息吹・国内編 —価値を創るスポーツ・ビジネス実践実習—	海外実習編 特設自由科目 王国の息吹・海外編 —価値を創るスポーツ・ビジネス実践実習—
レベルⅠ (入門編)	スポーツで起業・事業化するとは何かを知る	
	基礎実習編 大学院共通科目・総合科目 勇者の鼓動 —卒業を創るスポーツ・ビジネス実践実習—	体験実習編 共通科目体育・自由科目 賑わい創造 —地域を繋ぐスポーツ・イベントマネジメント実習—

③ 産学連携講座「醒めて起て！勇者の鼓動—スポーツの価値とビジネス・キャリア・マネジメント」第二期開講

ビジネスマン、OLを中心に昨年度を上回る受講生が受講。

開催場所；筑波大学東京キャンパス文京校舎

開催期間；1 月～3 月

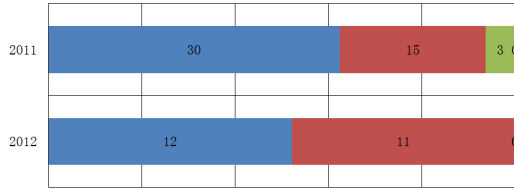
個人受講者数 60 名(他法人契約受講制度も新設)

別紙様式 5.

平成 25 年度 産学連携推進プロジェクト研究成果等最終報告書（アントレプレナーシップ教育及び知財教育支援プロジェクト用）

この講座は自分にとって  
総合的に満足できるものであった

■大いにそう思う ■そう思う ■そうは思わない ■全くそうは思わない



ナルマネジメント・スポーツで学ぶビジネスとキャリア」として、全 16 単位 学群生 院生向けプログラムとして完成し、全てシラバス掲載されて学生募集ができたこと。（下図はその専用パンフレット）



④外部資金獲得（科学研究補助金）

挑戦的萌芽研究にて採択。テーマは「スポーツ産業市場活性化及び雇用創出に寄与する起業家的人材育成プログラムの開発」で、本プロジェクトのアップグレード版となる。平成 25 年度より 3 年計画で採択。

⑤共同研究締結

本講座「勇者の鼓動」におけるキャリア部門に関する更なるプログラムの進化を目的に、「フランクリン・コヴィー・ジャパン株式会社」と平成 25 年度より共同研究契約を締結する予定。

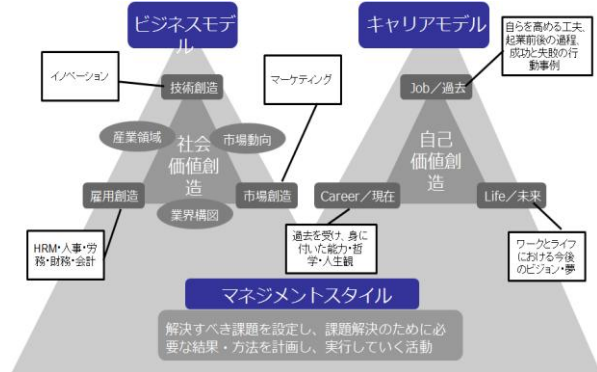
⑥大学発ベンチャーの起業

本プログラムのノウハウの一部を外部移転し、アスリート（引退後）のセカンドキャリア支援（教育、ネットワーク、雇用機会）を実施する会社「アスリートライフ LLC」を設立した。

(3) 平成 25 年度の成果（第三年度）

① 本プロジェクト最終形「スポーツ・アントレプレナーシップ」プログラムが、「プロフェッショナル・

② プログラム全体を貫徹する提供価値の概念が完成し、学びの体系化の大前提として機能したこと。（下図）



③ 教材開発、プログラム開発の過程において、新研究領域「スポーツ環境デザイン」という分野、及び「スポーツ・エリアマネジメント」という手法が開発できたこと。

スポーツ環境デザインのコンセプト（下図）と定義、スポーツ・エリアマネジメントの定義は以下のとおりである。

スポーツ環境デザインの定義；「人や街の『生活や職・住環境』と『スポーツ環境』の質・魅力向上を相互作用的に高めていくこと」と、「新しい雇

別紙様式 5.

平成25年度 産学連携推進プロジェクト研究成果等最終報告書（アントレプレナーシップ教育及び知財教育支援プロジェクト用）



用、市場、人材育成が創造されていくこと」が同時多発的・持続的に進行している状態のデザイン。或いはそうした状態を志向するデザイン。

（事例；Irvine City, 星野リゾート、野沢温泉スキー場等）

スポーツ・エリアマネジメントの定義；「スポーツ環境デザインを構築していく上で、対象「環境」とする一定のエリア（物理的～関係的なもの）における生活資本（主に人的資本・社会関係資本）を如何に高めていくかということについて、スポーツを中心に添えて考えていく方法論。（仮）

（事例；丸の内開発地区、等）

④ レベルⅠプログラム「勇者の鼓動」

ビジネスモデルに関する定形様式として「ビジネスモデルキャンパス」（アレックス・オスターワールダー氏発案）他各種マネジメント及びキャリアがひと目でわかる独自の教材ツールを開発或いは適用することができたこと。

⑤ レベルⅡプログラム「王国の息吹」

二年目とあり、昨年連携した機関とは滞りなく実施し、また新たな教材を共同で開発する等更に充実した内容となった。

顕著な成果は、受講生の最終関門であるビジネスプラン策定において、指導した学生チームが、「全国大学・大学院ビジネスプランコンペ2014；経産省主催事業」において見事入賞したことである。事業名は「夕食から健康を～good dinner good

health～」。

⑥ レベルⅢプログラム「浪漫の覚醒」

事業計画立案から資金調達、マーケティング、営業、企画実戦、総務財務、人事など全てをフルパッケージで実施した。産官民連携で望み、受講生は「スポーツ鬼ごっこ」というニュースポーツの市場拡大に挑戦し、総勢1500名の市内子供たちへサービスを実施、実行員会、ゼビオ社、つくば市体育協会の三者に対し、貢献を果たした。

ここでの成果は、最終プログラムでは、ひと・トキ・カネの3資源について、最も効果的な学習ができるということが明確になったことである。

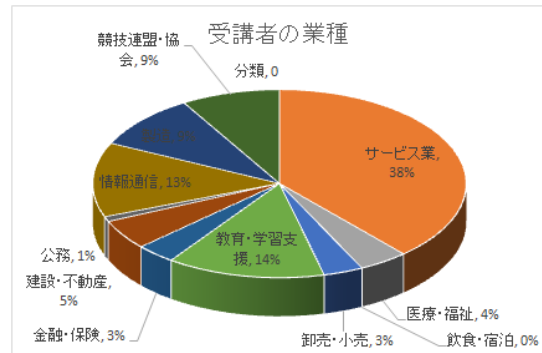
⑦ 産学連携講座「醒めて起て！勇者の鼓動—スポーツの価値とビジネス・キャリア・マネジメント」第三期開講

ビジネスマン、OLを中心に昨年度を上回る受講生が個人、法人共に受講。

開催場所；筑波大学東京キャンパス文京校舎

開催期間；1月～3月

個人受講者数60名（他法人契約受講制度も新設）



別紙様式 5.

平成 25 年度 産学連携推進プロジェクト研究成果等最終報告書（アントレプレナーシップ教育及び知財教育支援プロジェクト用）

エ. 新聞記事・雑誌掲載・報道等

・勇者の鼓動「公開授業」に関する記事

NHK 教育テレビ

茨城新聞 2011.11.15

毎日新聞 2011.11.16

東京新聞 2011.11.16

筑波大学新聞 2011.12.5

・浪漫の覚醒 に関する記事

常陽リビング 2014. 1.11

広報つくば 2014.2.1

B-Life 2014.2.1

朝日新聞 2014.2.17

常陽新聞 2014.2.19 2.21

筑波大学 HP

ラヂオつくば「クラスタ」

2014.2/1,2/15.2/19,3/1

ACCS 2014.3.1

・プログラムに関する講演依頼、学会発表

1) 公益財団法人日本生産性本部主催キャリア・クロス会 3 月例会 (2011 年 3 月)

題目「キャリア形成とスポーツ&ビジネス-筑波大学産学連携スポーツ・アントレプレナーシップ教育の取り組み」

2) 日本スポーツマネジメント学会第 5 回大会研究発表 (2012 年 10 月)

題目「産学連携スポーツ・アントレプレナーシップ教育プログラムの開発と実践ー「勇者の鼓動」と「王国の息吹」

3) 日本スポーツマネジメント学会第 6 回大会ワークショップ (2013 年 12 月)

題目「スポーツ環境デザインを考える」

・プログラム全体に関する記事掲載

1)「コーチングクリニック 2013 年 2 月号『突撃！研究室訪問 スポーツを産業に！松田裕雄』(ベースボールマガジン社)

2) スポーツ総合サイト Sportie (2014 年 1 月)「スポーツを仕事にしたい人必見！実践型スポーツセミナー「勇者の鼓動」(スポーツ IT ソリューション社)

<http://sportie.com/2014/01/yushanokodou>

オ. 特記事項

3 年間の実施期間中に、1) 学内一気通貫講座(16 単位パッケージ) 確立、2) 大学発ベンチャー一社設立、3) 科研費 1 件、共同研究 2 件獲得、4) 学内大型教育研究費予算の獲得、5) 新規公開講座事業の設置と本プロジェクトは当初予定を大幅に上回る実績を残したと言える。

については、今後こうしたプログラムのニーズは東京五輪開催に向けより一層に高まることから、都内近郊全大学生に門戸を開けるような仕組の中でプロデュースされていくことが大変望ましいと考える。よって、次なる展開は、これまでの資源を最大活用し、産業界、大学界、スポーツ界にとってのプラットフォームとなるようなインフラが必要になると思われる。そのためのコンソーシアム組織を起業していくことが今後の スポーツアントレプレナーシップ教育の更なる展開には必要になると考えられる。

カ. 申請した国等の研究開発費（プロジェクト遂行期間中の獲得分及び申請分）

名称	申請年月日	採択結果（採 択・非採択）	金額 （単位：千円）	配分 年度
科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究 スポーツ産業市場を活性化する起 業家の人材育成プログラムの開発と 実戦	H24.10.10	採択	4,000	H25 - 27

キ. 研究員（任期は、複数年度にまたがって委嘱している場合、開始は最初に委嘱した日付を記入。）

所属	職名	氏名	任期
芸術系	准教授	渡和由	H24.4.1～H26.3.31
体育系	准教授	高橋義雄	H25.4.1～H26.3.31
体育系	特任助教	武田丈太郎	H24.4.1～H26.3.31

ク. 客員研究員（任期は、複数年度にまたがって委嘱している場合、開始は最初に委嘱した日付を記入。）

所属	職名	氏名	任期
(株)スポーツビズ	取締役	田中和弘	H24.4.1～H26.3.31
(株)スポーツビズ	S P N事業室	宮本佳代子	H24.4.1～H25.3.31
インターファースト(株)	代表取締役社長	高柳公一	H24.4.1～H26.3.31
(有)日本スポーツトレーニング研究所	所長	小俣よしのぶ	H24.4.1～H26.3.31
法政大学総長室	特任講師	鈴木美伸	H24.4.1～H26.3.31
(株)電通	スポーツ局	上西葉子	H24.4.1～H25.3.31
福山大学	准教授	相原正道	H24.4.1～H26.3.31